

平成28年度 三条市 社会科部活動報告

部長 坪谷 秀雄

1 研究主題

子どもが社会的事象への興味関心を高め、意欲的に追求する社会科授業の充実

2 研究の概要

裏館小学校の校内研修及び、中越社会科研究会の研修に参加し、2つの授業を参観した。実践を通して部員相互に学び合った。

地域素材の教材化という視点で、三条のものづくりについて研修を深めた。特に、中学年の生産単元における教材化の視点を広げた。また、ものづくりに携わる方々の思いの深さに直に触れた。

3 研究の実際

月日	活動の概要（活動名、概要、指導者等）	会場
7月1日	<p>○ 授業研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業者 裏館小学校 石川 信也 教諭（3年） 漆原 史剛 教諭（5年） ① 3年生「調べよう！わたしたちの町、裏館」 <ul style="list-style-type: none"> ねらい 下田庁舎や栄庁舎があるにもかかわらず、三条庁舎に下田から利用者が来ていることについて考えることで、裏館にある三条市役所には、利用者の用事によって三条市内のいろいろな地域から利用者が来ていることを理解する。 ② 5年生「国民の生活を支える米の生産」 <ul style="list-style-type: none"> ねらい 野崎さんが、冬期間に水田の土作りに力を入れている意図を考えることを通して、野崎さんは肥料を自分なりに混ぜたり、農薬をできるだけ使わなかったりする土作りの工夫をしていることを理解する。そして、野崎さんが農薬をできるだけ使わないのは、丈夫な稲を育てるためと消費者に安全な米を食べてもらうための努力であると予想を立てることができる。 	<p>三条市立裏館小学校</p>  
9月28日	<p>○ 工場見学「三条のものづくり～爪切りづくり、箸づくりに学ぶ～」</p> <ul style="list-style-type: none"> 見学先 株式会社 諏訪田製作所 様 マルナオ株式会社 様 内容 諏訪田製作所の爪切り・ニッパーづくりと、マルナオの箸づくりを見学した。製作過程を見学したり企業について説明を受けたりした。三条のものづくりにかける企業や職人の理念や思いに直接触れた。 	<p>(株)諏訪田製作所 マルナオ(株)</p> 

4 成果と課題

実際に授業を参観し協議会に参加することで、たくさんの意見や考えに直接触れることができた。部員の授業力向上に大変有意義であった。

どのような課題や教材、教師のかかわりによって子どもは問いをもち主体的に追求するようになるのかを、授業を通して意見交換をすることができた。部員一人一人が今後の実践に大いに役立てることができた。

中学年では、子どもたちが住む町やその施設、産業などを扱う単元が多いので、三条のものづくりを担う生産現場を見学しその職人の皆さんから直接学ぶ活動は、大変重要であった。

今後も、授業を参観したり、ものづくりの現場に直接触れたりする活動を行い、社会の授業づくりに生かしていく。